

事業所名

さぼーとnaviこどもセンター

支援プログラム

作成日

R8

年

3月

3日

法人（事業所）理念		「お客様を笑顔にする」「家族を笑顔にする」「自分が笑顔になる」 をモットーに福祉を実践するプロとして地域の発展に貢献し、幸せの輪を広げる活動を実践する。					
支援方針		①こどもが自立するための力を伸ばし、出来る事を増やしていきます。 ②こどもの社会性を伸ばすため、様々な社会体験を提供していきます。 ③家庭での困り感に寄り添い、保護者と緊密に連携を図ります。					
営業時間		10時	0分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人 支 援	健康・生活	①健康状態の確認：登所時の検温等、常に健康状態や心身の把握に努めます。 ②基本的な生活習慣の獲得：（活動によるお箸の練習、プットインや指先訓練等）トイレトレーニングや着脱等、その場にて行っていきます。 ③生活リズムの獲得：日常生活における睡眠時間や入浴について、家庭と連携して本人に伝えていきます。					
	運動・感覚	①基礎体力の向上：屋外活動（公園遊び、登山、プール、散歩等）を通して身体を動かし体力の向上を図ります。 ②運動感覚の向上：室内活動（ストラックアウト、サッカー、エアロビ、筋トレ等）を通して、自分のボディイメージを持ち、運動能力、感覚の向上を目指します。 ③指先の感覚訓練：机上活動（折り紙、カレンダー制作、プラ板作り、塗り絵等）を行い、細微運動を行う事で指先の感覚向上を目指します。					
	認知・行動	①認知力の向上：机上活動（マッチング、シール貼り、パズル等）を通して、認知力の向上を目指します。 ②時間、数等の習得：机上活動（時計の読み書き、数字計算、日々の宿題等）を通して数字理解を深めていきます。 ③行動する力の習得：日々の生活の中で、スケジュールの可視化、環境の構造化を行う事で、誰でも動きやすい環境設定を作る事により適切な行動を促していきます。					
	言語 コミュニケーション	①コミュニケーション力の向上：職員との1対1での会話等を通して語彙力やコミュニケーション力の向上を図ります。 ②非言語でのコミュニケーション：絵カード等を使い、発語によるコミュニケーションが難しい場合でも、非言語でのコミュニケーションを活用してけるよう支援します。					
	人間関係 社会性	①集団への参加：集団活動（カードゲーム、風船バレー等のチーム競技）を通して、集団での活動に取り組みます。 ②仲間との協力：様々な活動（調理やSST等の発言する場面）にて、友達と協力し、相談する機会を設けていきます。 ③公共ルールの獲得：屋外活動（買い物、外食、温泉等）公共でのルールを提示し体験する事により、社会経験を増やし、公共でのルールを認識してもらいます。					
家族支援		・家庭での困りごとの相談援助 ・定期的な保護者面談 ・保護者のレスパイトケア		移行支援		・進路先への会議参加や情報提供、支援のすり合わせ ・就労体験（企業見学等）の開催	
地域支援・地域連携		・学校や併用事業所と支援方法の情報共有等 ・相談支援事業所との連携 ・場合により主事業所として支援会議の開催		職員の質の向上		・社内研修の開催（虐待防止研修、発達支援勉強会等、年4回程度） ・外部研修への参加（CDSJapan全国研修、道内研修等への参加や旭児連開催研修への参加）	
主な行事等		・R6年度実績：いちご狩り 懇親会 餅つき大会 ・過去行事実績：海水浴、保護者勉強会、スキー、親子動物園、親子バーベキュー、よさこいソーラン祭り本祭参加等					